

分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会

No. 27 2011. 3. 24

発行責任者 柿本 克彦

編集責任者 教 宣 部

大震災の影響を受ける！！

新幹線電車の安全は守られるのか？！

3月11日、発生した東北地方太平洋沖地震から10日余りが過ぎました。被災地の皆さま方には謹んでお見舞い申し上げるとともに一日も早い復興を願い東海労としても最大限の支援をしていきたいと思っております。

さて、今回の東北地方太平洋沖地震に伴い福島第一原発事故をはじめ、さまざまな影響が出ていることはマスコミ等でも周知のことと思っております。

そんななか私たちが日々提供する新幹線電車の部品・消耗品工場にも被害が出ています。仕業検査車両所では、新幹線電車の最も重要なブレーキ装置の部品であるライニングを製造する会社が福島県にあり、「今回の大震災の影響で納入が遅れることが予想されることから使用部品を再利用するようになる可能性がある」と言っていますし、台車検査車両所では接地ブラシも同様に入荷が困難な状況から接地ブラシを再利用することを関連会社に通達している」ことが明らかになりました。

さらには新幹線電車を安全に運行するための重要な特殊油類等も納入が遅れることが懸念されることは言うまでもありません。

いまこそ、最も安全な車両を提供すべき！！

私たち仕業車両所分会は、安全な新幹線電車を提供する観点から高速域でディスクを抱くことによりディスクが焼ける程の熱を持つ部品の再利用には問題があると考え今回の震災で影響を受けている工場の状況、さらに生産、納入等について十分な部品・消耗品等が確保出来るのか、会社に対し申し入れを行い明らかにしていきます。

(申し入れは裏面)

2011年3月23日

J R 東海 労新幹線 関西地本
執行委員長 小林 國博 殿

J R 東海 労新幹線 関西地本
大阪 仕業検査車両所 分会
執行委員長 柿本 克彦

「震災に伴う車両部品の扱いについて」に関する申し入れ

震災で福島県の工場が災害してライニングや接地ブラシ等車両部品が入ってこない話があった。確かに未曾有の影響は、はかりしれないものだといえ、会社は、対策だけを先行させている。災害で影響が出ている工場等が滞っている現実を明らかにすることと、その後の対策等を職場に説明するべきである。よって、下記の通り申し入れるのでよろしくお願いします。

記

1. 震災で影響している車両部品や材料の品目について明らかにすること。
2. 生産工場の被害で車両部品等の納入が滞るのはいつからか明らかにすること。
3. 滞る車両部品について、職場で再利用しているものを明らかにすること。
4. 高速走行、長距離走行する新幹線においては、車両部品等の再利用については基本的に安全上問題である。なぜ、車両部品等を再利用するのか詳細を明らかにし、今後、再利用を予定している車両部品等があれば明らかにすること。
5. 高速走行、長距離走行する新幹線において、ライニング等は電制失効でディスクを抱くことによりディスクが焼け、ライニングは相当減っている。再利用は認められない。
6. ライニングの再利用を強行するのであれば、ATCチャートで電制失効の有無を確かめてから、台車点検をするように手順を変えることを要求する。

以上